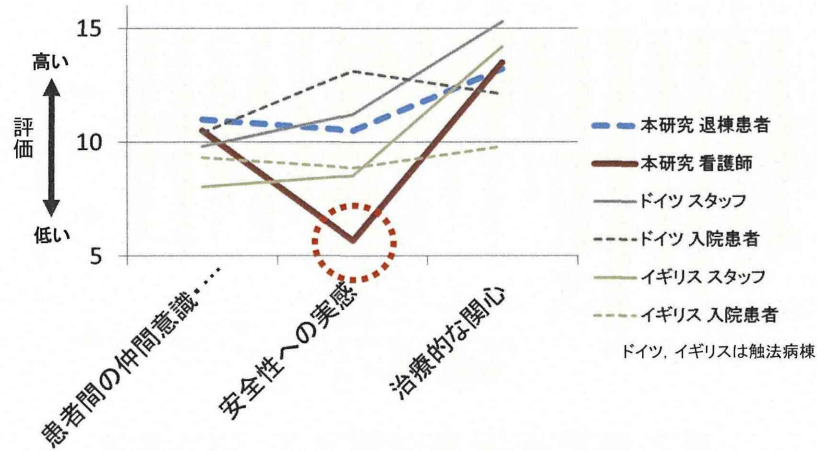


海外先行研究と本研究結果



抑制手法の定義

<p>頓服薬: 定時薬に追加して、看護師判断によって与えられる薬。患者自身がそれを受け入れている。投薬経路は問わない。</p>		<p>精神科集中治療: 不穏な患者のための特殊な閉鎖病棟（病床数が少なく、患者に対し多くのスタッフがいる）に患者を移すこと。</p>	
<p>徒手拘束: 患者が動かないように、スタッフが体を使って抑えること。</p>		<p>身体拘束: 動きを制限するために、拘束帯やベルト、他の道具を使用すること。</p>	
<p>間歇的観察: 観察レベルを上げること。どの患者も受ける通常の観察より強化し、一人の看護師（ないしスタッフ）を責任者として配置すること。間隔をおいた定期観察。</p>		<p>常時観察: 観察レベルを上げること。どの患者も受ける通常の観察より強化し、一人の看護師（ないしスタッフ）を責任者として配置すること。常時とは、常に観察者の視野内、もしくは観察者の手が届く範囲で観察すること。</p>	

ACMQ

抑制手法への臨床姿勢質問票
Attitude to Containment Measures Questionnaire

- 2004年 Bowers (イギリス) によって開発
 - 不穏な行動を抑制するために用いられる手法が国によって様々である。
 - その相違が生じる理由は明らかではない。

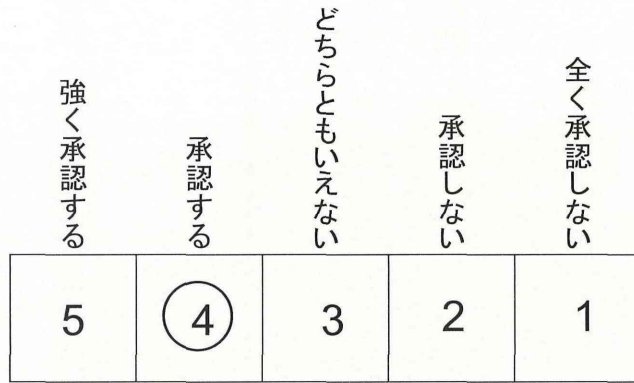
仮説

国による抑制方法の選択の相違は、その国のスタッフの臨床姿勢の相違によるのではないかと仮説を立てる。

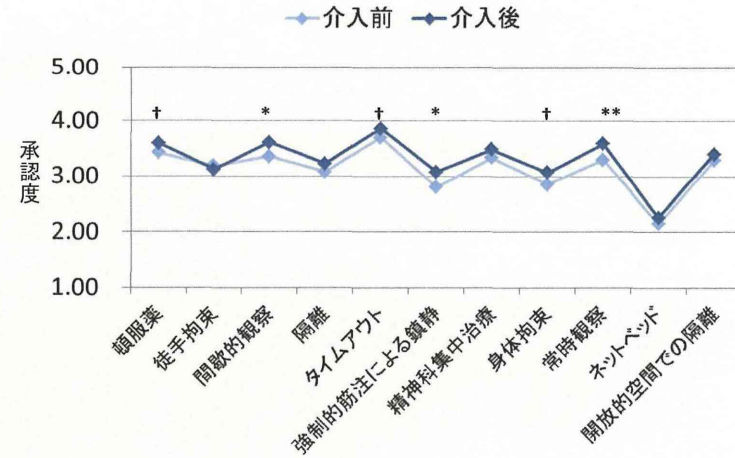
抑制手法の定義 (続き)

<p>隔離: 施設された部屋に一人入室させること。</p>		<p>ネットベッド: 施設された網で包囲したベッドに患者を入れ、そこから出られないようにすること。</p>	
<p>タイムアウト (休息): 施設されていない部屋ないし場所、ある時間、過ごすよう促すこと。</p>		<p>開放的空間での隔離: 施設された場所に一人の患者を入室させ、看護師が付き添うこと。</p>	
<p>強制的筋注による鎮静: 患者の同意なく、鎮静のための筋肉注射を行うこと。</p>			

この手法を承認しますか？

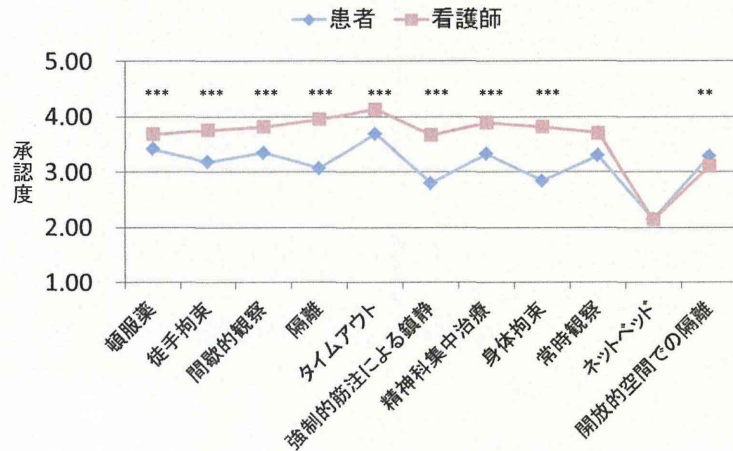


ACMQ 介入前後の患者 比較



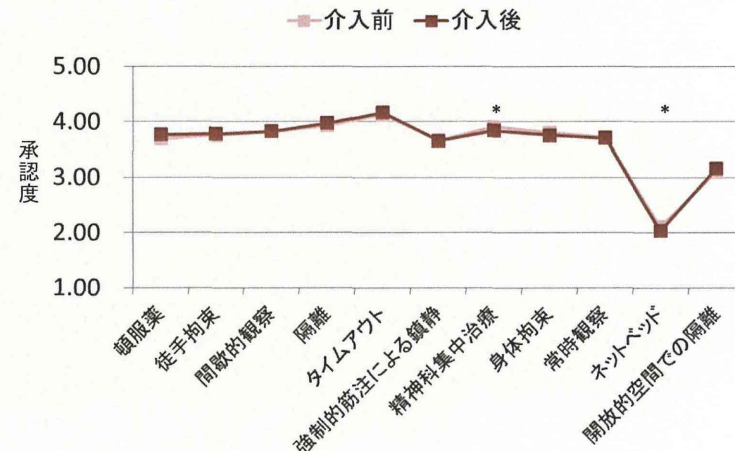
† p < 0.1 * p < 0.05 ** p < 0.01 *** p < 0.001

ACMQ 介入前の患者/看護師 比較



† p < 0.1 * p < 0.05 ** p < 0.01 *** p < 0.001

ACMQ 介入前後の看護師 比較



† p < 0.1 * p < 0.05 ** p < 0.01 *** p < 0.001

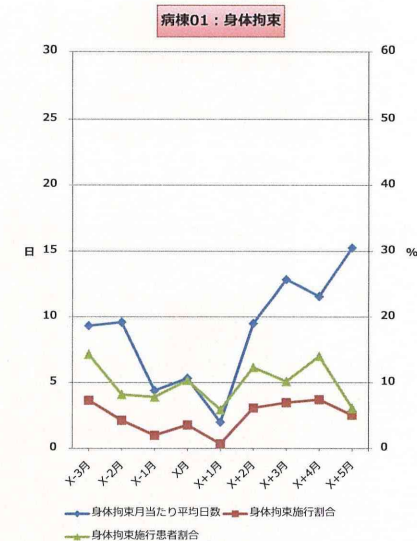
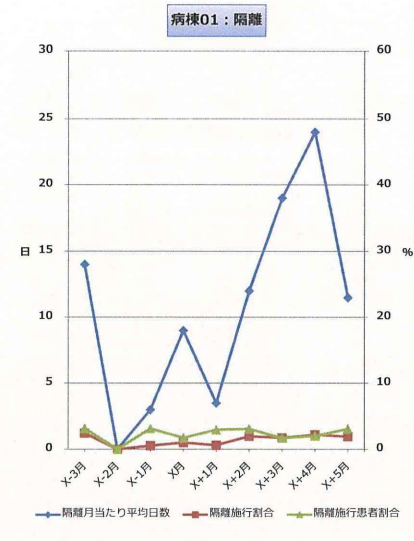
まとめ

- 看護師の認識は動きづらい
 - EssenCESにて、諸外国の先行研究と比し「安全性への実感」が低い
- 患者の認識が一部、好ましい方向に動いた可能性
 - ACMQにて、抑制手法の承認度が上昇
「常時観察」「間歇的観察」「強制的筋注による鎮静」

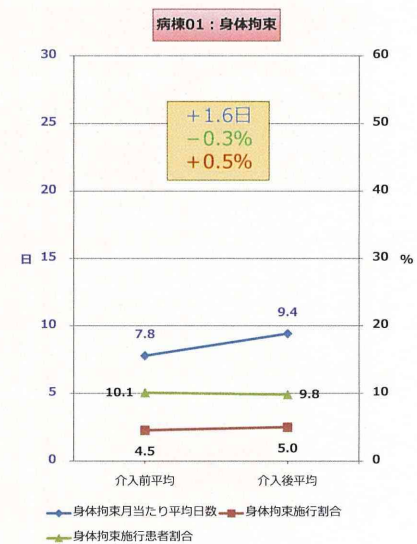
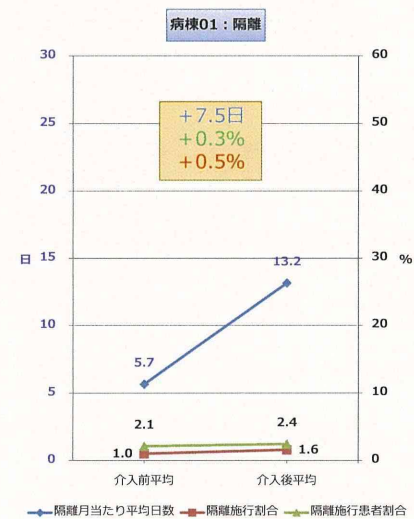
(施設 : 01) 病棟 : 01

病棟 : 01

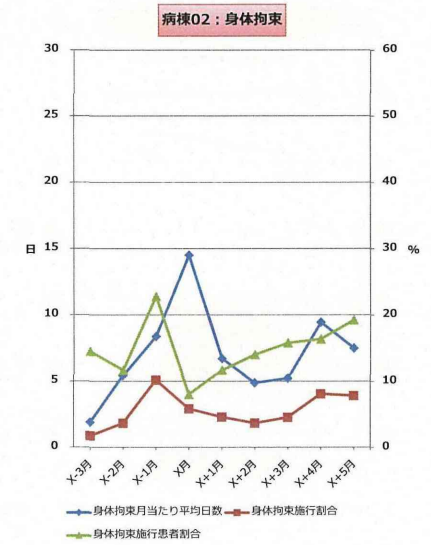
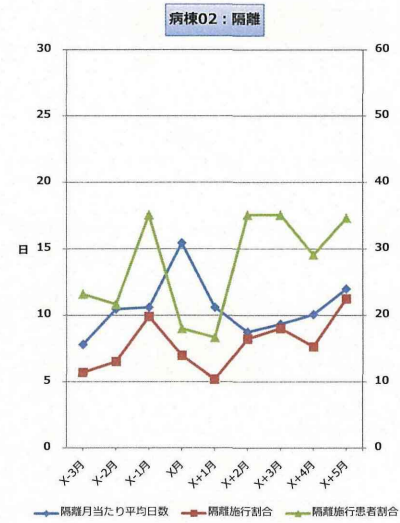
(施設 : 01) 病棟 : 01			介入
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
入院料	精神13対1	精神13対1	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
看護師配置			F. デイエスカレーション研修の開催
女性 (うち准看護師)	10 (0)	11 (0)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
男性 (うち准看護師)	15 (0)	14 (0)	M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う
病床数	60	60	N. 数日後以降、利用者(患者)を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う
うち隔離室を含む個室数	2	2	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	0	0	
最も多くを占める治療対象疾患	F4 F2	F2 F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	25	29	
退棟患者数	33	25	
2011年平均在棟日数	50.5	50.5	



※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



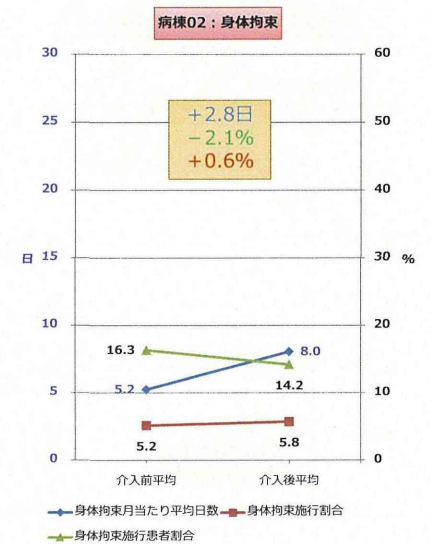
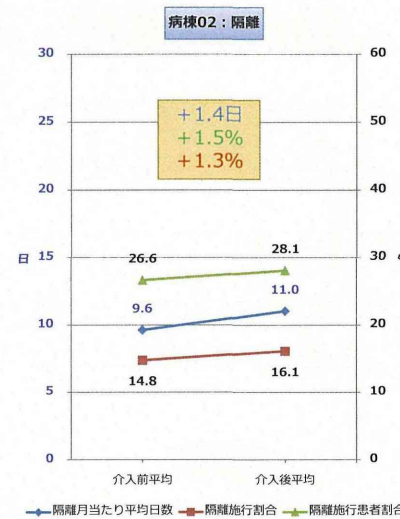
(施設 : 02) 病棟 : 02



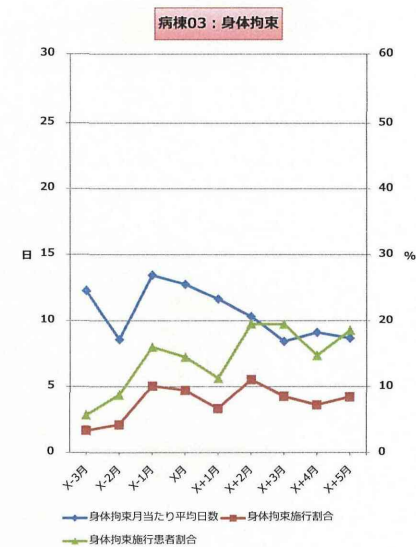
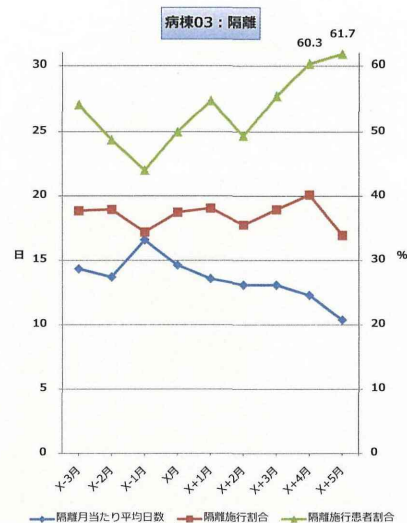
病棟 : 02

(施設 : 02) 病棟 : 02		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
入院料	急性期	急性期	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
看護師配置			F. ディエスレーション研修の開催
女性 (うち准看護師)	13 (0)	11 (0)	N. 数日後以降, 利用者 (患者) を含め, 隔離・身体拘束の振り返りを行う
男性 (うち准看護師)	12 (1)	14 (1)	
病床数	51	51	
うち隔離室を含む個室数	21	21	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	5	5	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	21	20	
退棟患者数	26	16	
2011年平均在棟日数	37.4	37.4	

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値



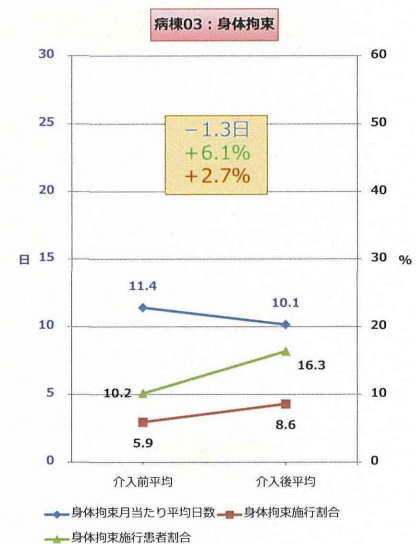
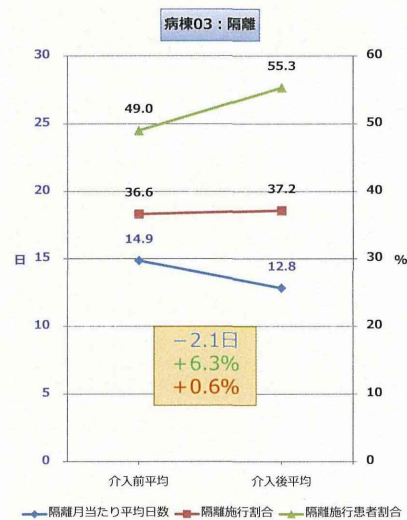
(施設 : 04) 病棟 : 03



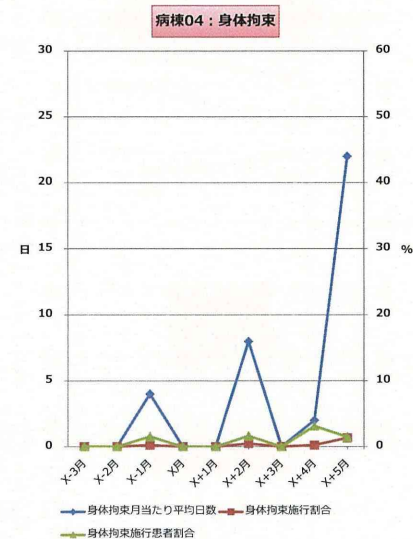
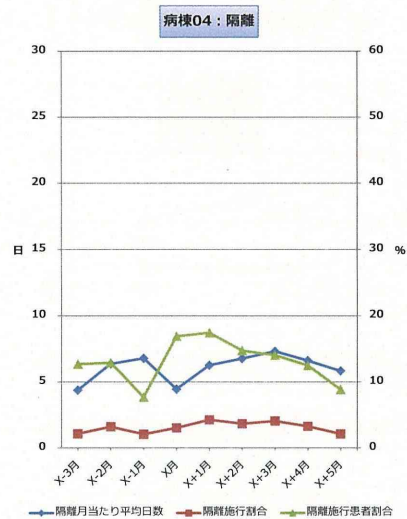
病棟 : 03

(施設 : 04) 病棟 : 03			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる	
入院料	救急	救急	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	17 (0) 18 (1)	17 (0) 17 (1)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	54 27 7	54 30 7		
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F2 F3	F2 F3		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	27	36		
退棟患者数	29	30		
2011年平均在棟日数	46.6	62.3		

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



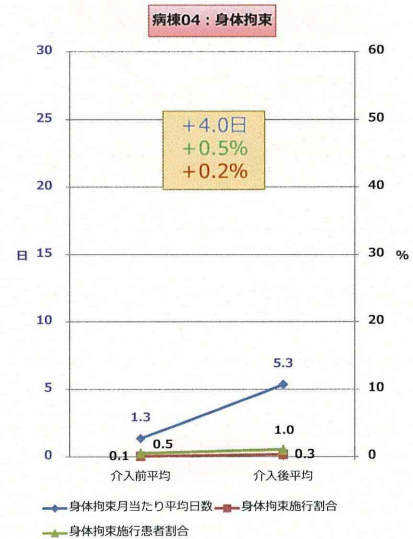
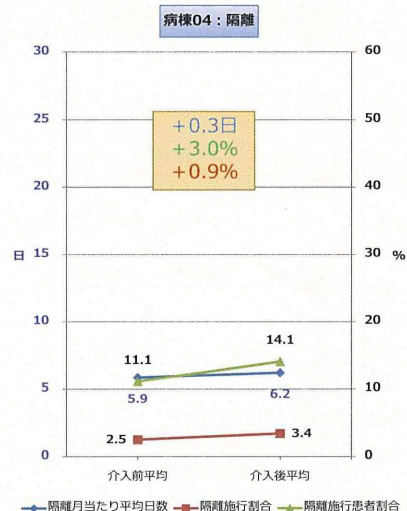
(施設 : 05) 病棟 : 04



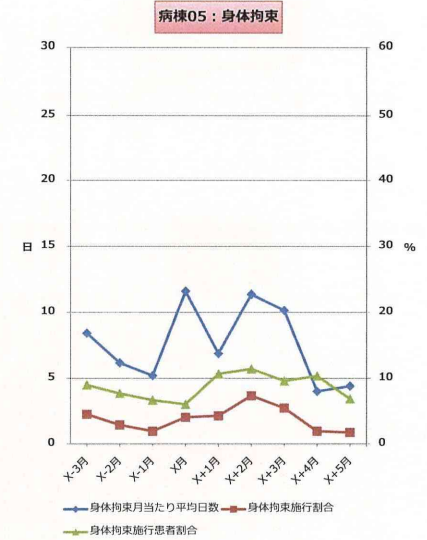
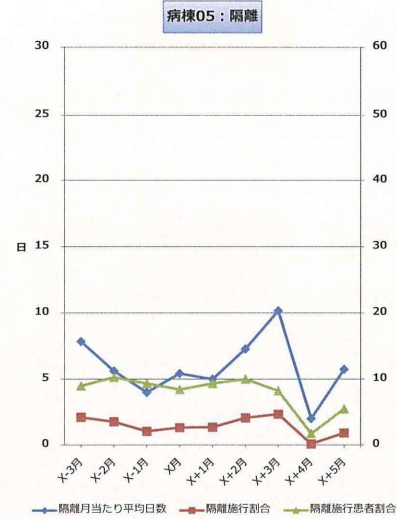
病棟 : 04

(施設 : 05) 病棟 : 04		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	J. セ이프ティプランの使用
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	11 (7)	10 (7)	
男性 (うち准看護師)	10 (6)	10 (4)	
病床数	60	60	
うち隔離室を含む個室数	4	4	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	4	4	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F0	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	13	8	
退棟患者数	11	9	
2011年平均在棟日数	1333	275.2	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



(施設 : 06) 病棟 : 05

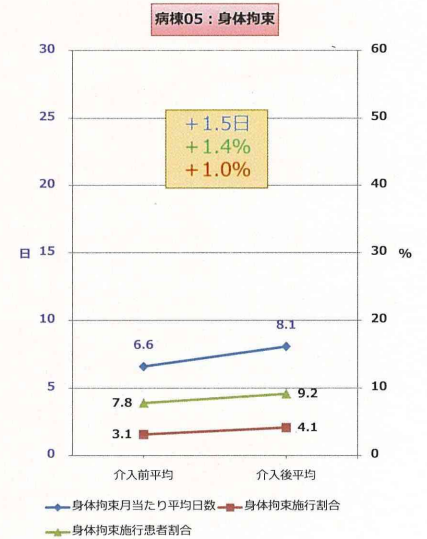
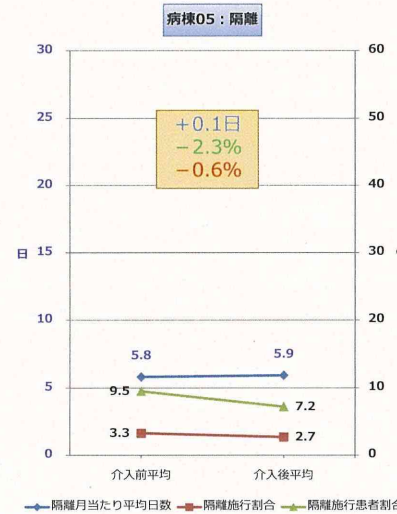


病棟 : 05

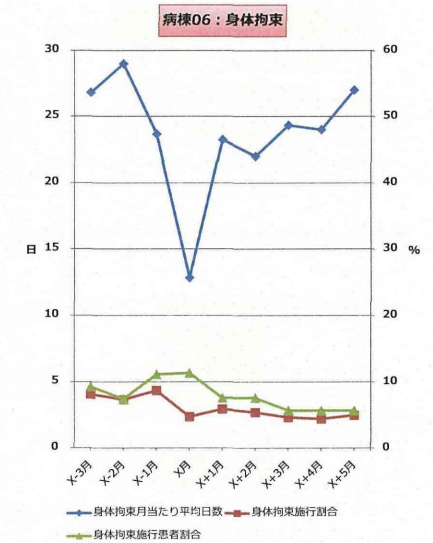
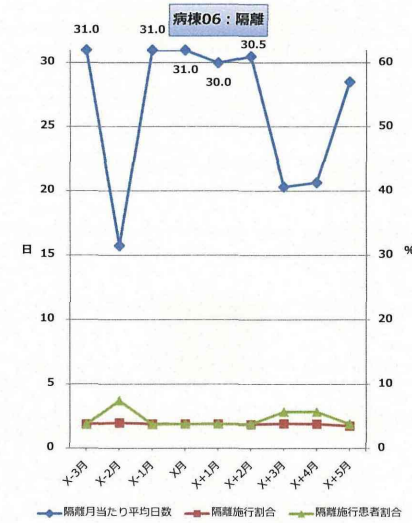
(施設 : 06) 病棟 : 05		
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)
入院料	救急	救急
看護師配置		
女性 (うち准看護師)	13 (1)	12 (1)
男性 (うち准看護師)	13 (0)	12 (0)
病床数	48	48
うち隔離室を含む個室数	24	24
うち耐破壊性能の高い隔離室数	2	2
最も多くを占める治療対象疾患	F2 F3	F2 F3
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満
新規入棟患者数	33	33
退棟患者数	32	31
2011年平均在棟日数	45.1	49

- ### 介入
- B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる
 - C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
 - E. 認定看護師による定期的研修会の開催
 - G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
 - M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う

※ 介入前平均 : X-3月～X-1月の平均値
介入後平均 : X月～X+5月の平均値



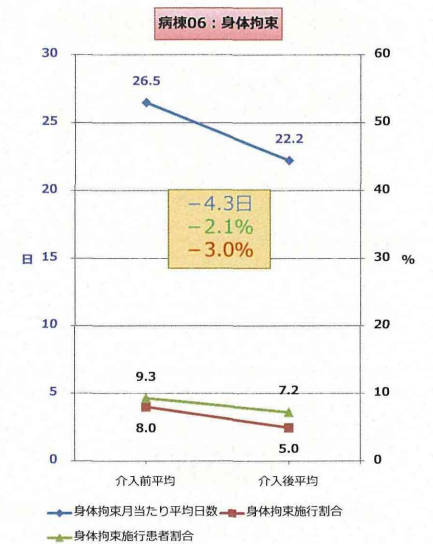
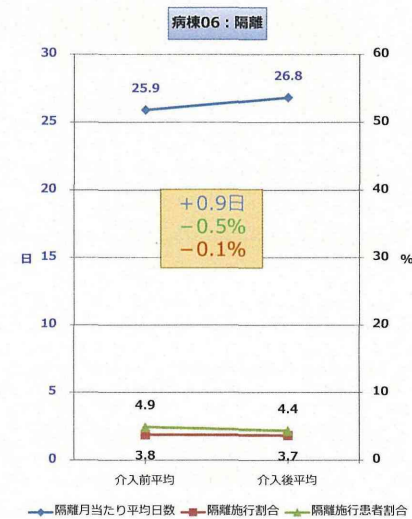
(施設 : 07) 病棟 : 06



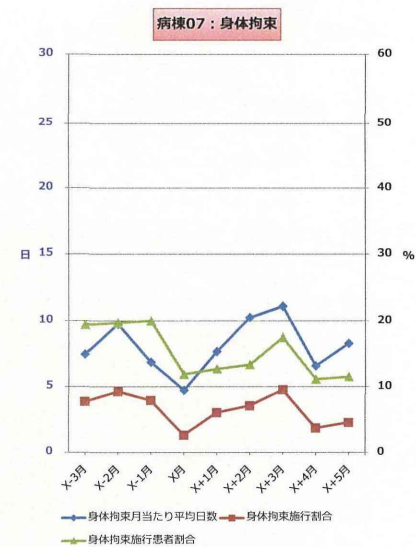
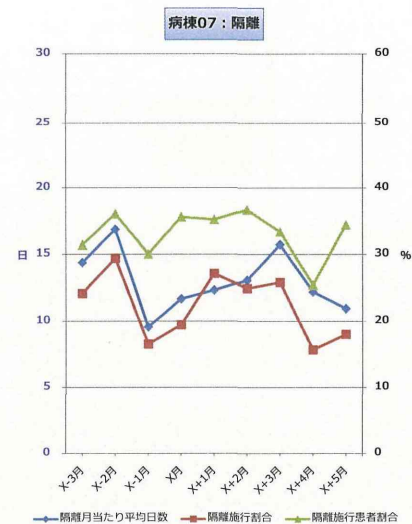
病棟 : 06

(施設 : 07) 病棟 : 06		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる
入院料	療養	療養	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	16 (7)	18 (8)	
男性 (うち准看護師)	4 (3)	4 (3)	
病床数	54	54	
うち隔離室を含む個室数	16	16	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	2	2	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F0	F0	
最も多い年齢層	65才以上	65才以上	
新規入棟患者数	2	0	
退棟患者数	1	0	
2011年平均在棟日数	1558.8	1558.8	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



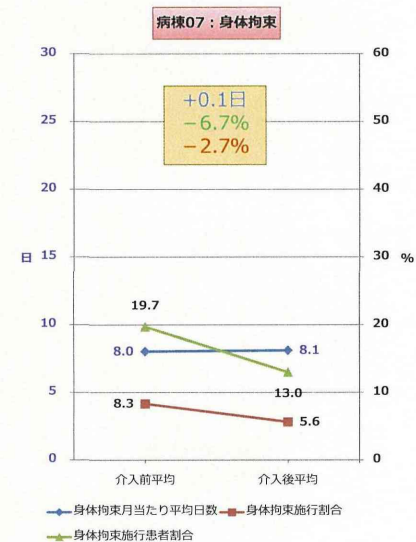
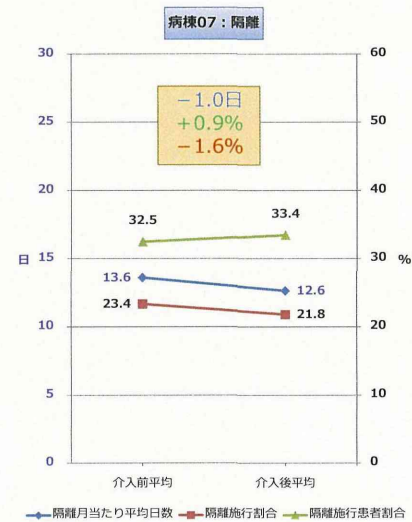
(施設 : 09) 病棟 : 07



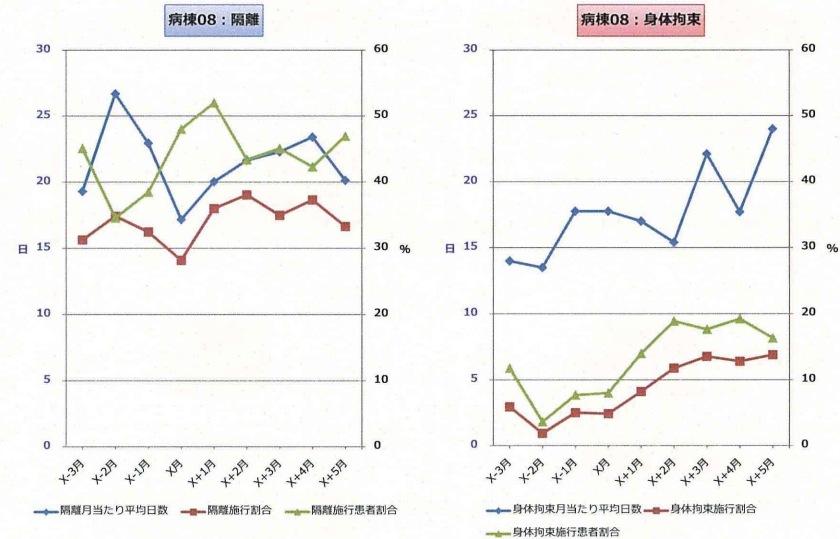
病棟 : 07

(施設 : 09) 病棟 : 07		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	F. デイエスカレーション研修の開催
入院料	救急	救急	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	13 (0)	13 (0)	
男性 (うち准看護師)	9 (0)	9 (0)	
病床数			
うち隔離室を含む個室数	43	43	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	4	4	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	28	21	
退棟患者数	26	20	
2011年平均在棟日数	46.4*	新棟のため データなし	※8月新棟openして、病棟編成が行われました。介入前の平均在棟日数は、過去の救急病棟のデータです。

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値

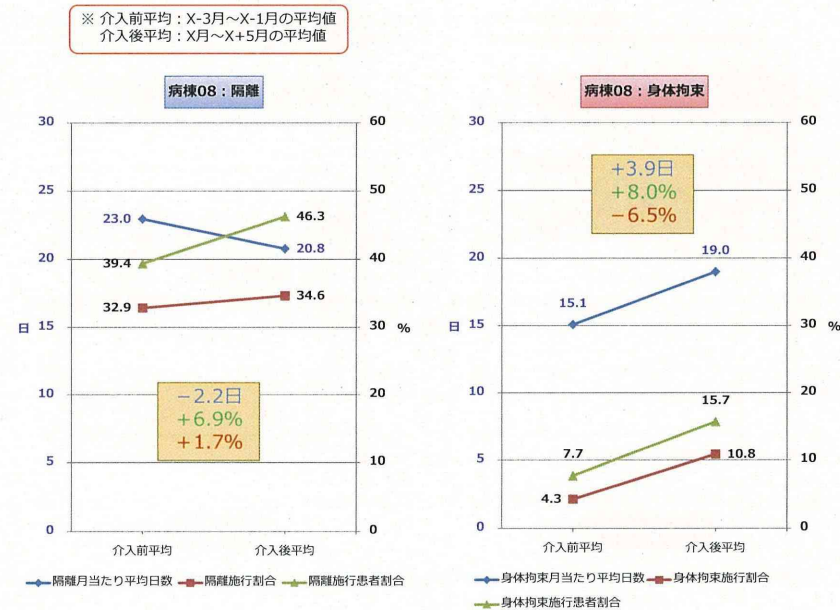


(施設 : 09) 病棟 : 08

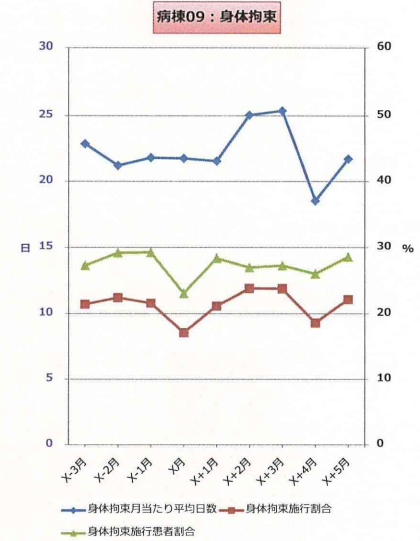
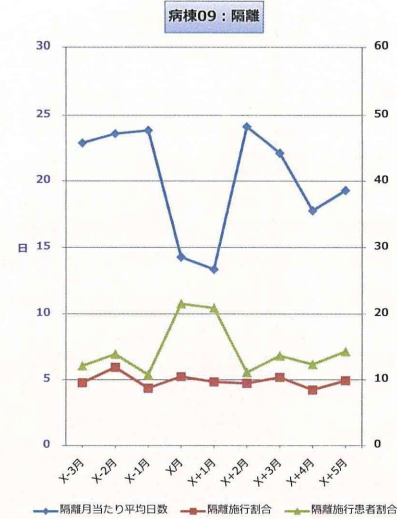


病棟 : 08

(施設 : 09) 病棟 : 08		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	13 (5)	13 (3)	
男性 (うち准看護師)	3 (0)	4 (1)	
病床数	48	48	
うち隔離室を含む個室数	48	48	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	3	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	4	5	
退棟患者数	3	7	
2011年平均在棟日数	484.1*	新棟のため データなし	※8月新棟openして、病棟編成が行われました。この病棟に 該当する1年のデータがないので、ここ3か月のデータを記し ました。



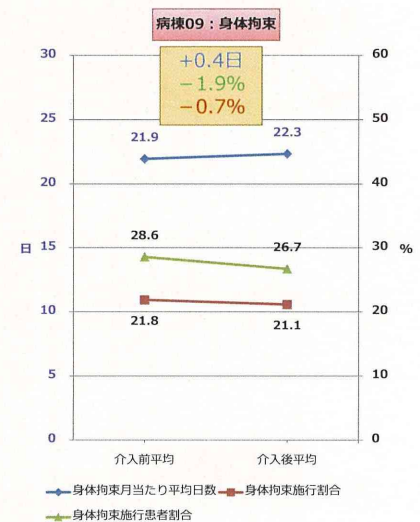
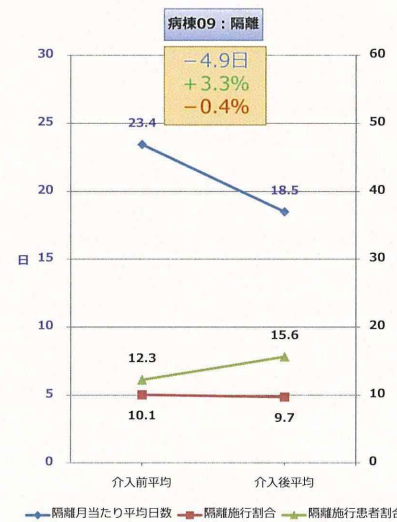
(施設 : 09) 病棟 : 09



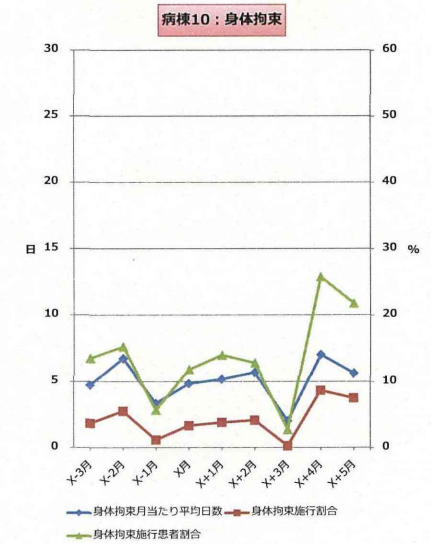
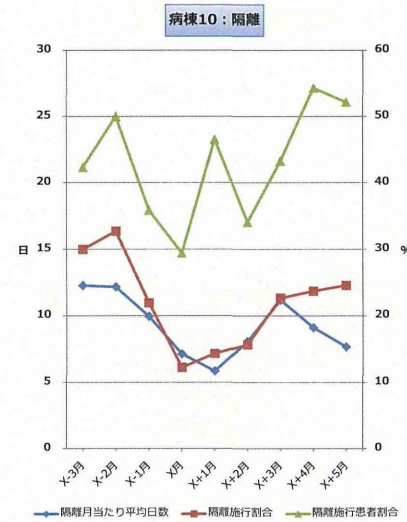
病棟 : 09

(施設 : 09) 病棟 : 09		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	8 (5)	9 (5)	
男性 (うち准看護師)	11 (2)	11 (2)	
病床数	66	66	
うち隔離室を含む個室数	6	6	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	6	6	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	3	5	
退棟患者数	6	5	
2011年平均在棟日数	502.2*	新棟編成のためデータなし	※8月新棟openして、病棟編成が行われました。過去のこの病棟のデータです。

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



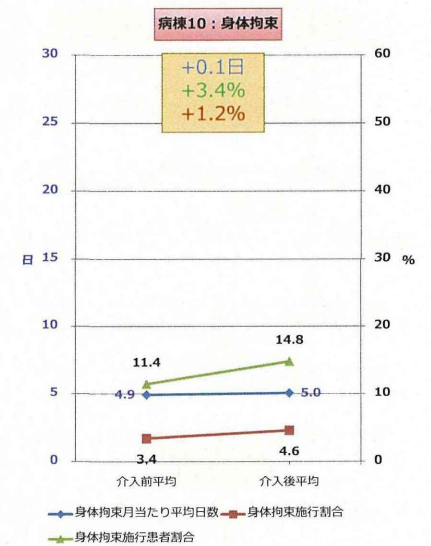
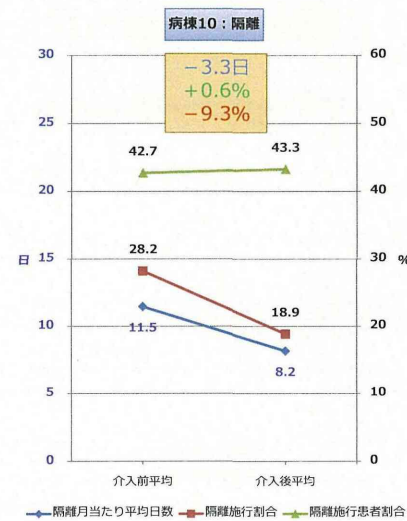
(施設：10) 病棟：10



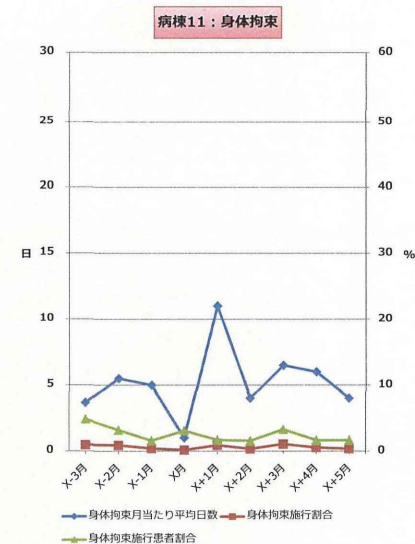
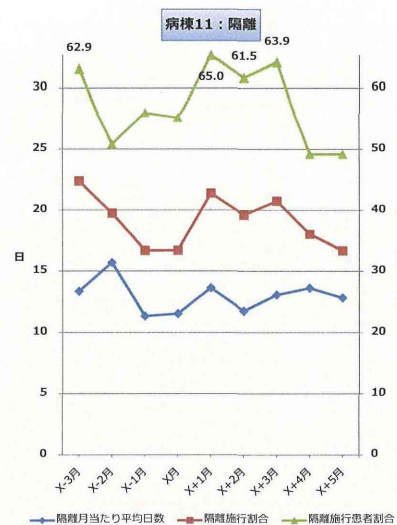
病棟：10

(施設：10) 病棟：10		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
入院料	精神15対1	急性期	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	9 (2)	7 (2)	
男性 (うち准看護師)	7 (5)	8 (4)	
病床数	35	35	
うち隔離室を含む個室数	11	11	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	11	11	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F1	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	23	18	
退棟患者数	21	19	
2011年平均在棟日数	2011年開棟のため不明	46.49	

※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



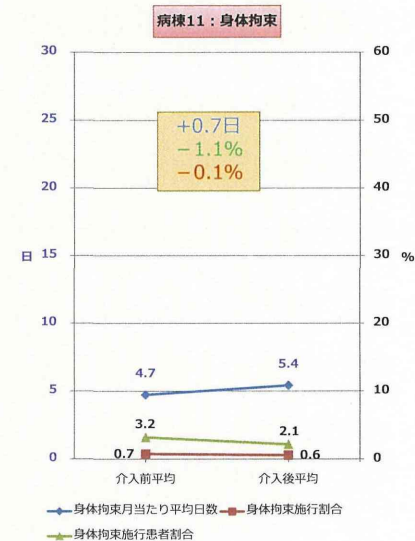
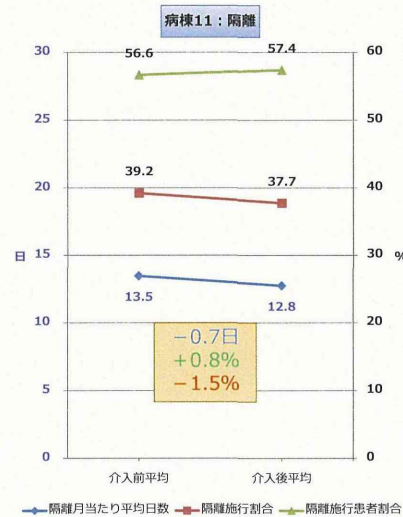
(施設 : 12) 病棟 : 11



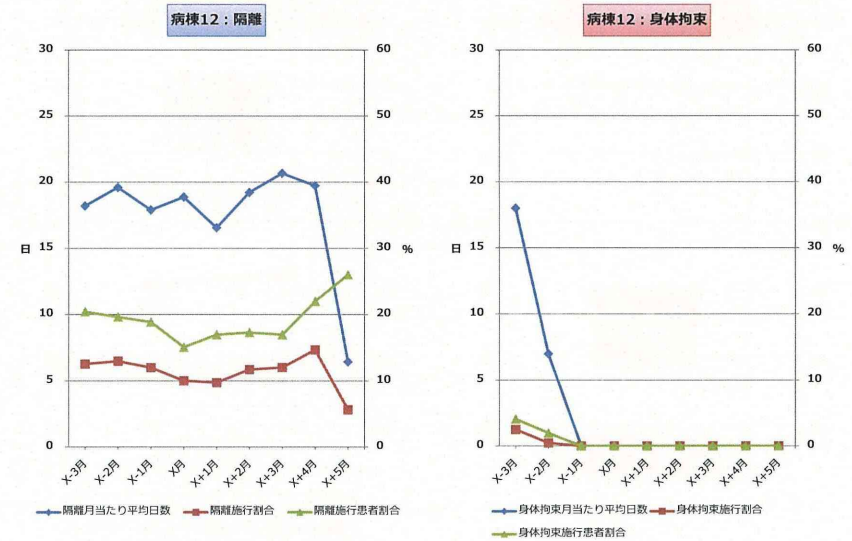
病棟 : 11

(施設 : 12) 病棟 : 11			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	F. ディエスカレーション研修の開催	
入院料	救急	救急	M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う	
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	7 (0) 15 (0)	7 (0) 15 (0)	N. 数日後以降、利用者 (患者) を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う	
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	44 26 8	44 26 8		
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F3 F2	F3 F2		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	23	22		
退棟患者数	27	21		
2011年平均入棟日数	54.8	54.8		

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値

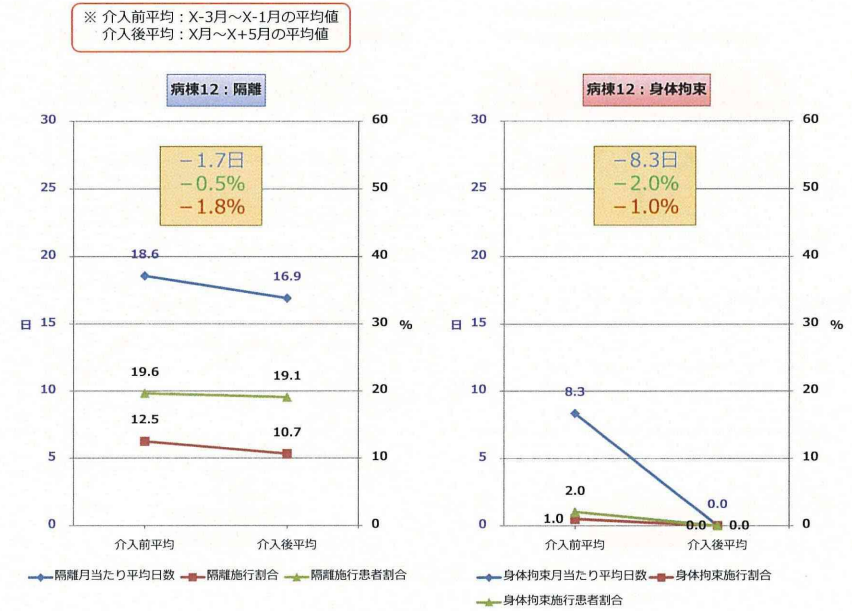


(施設：12) 病棟：12

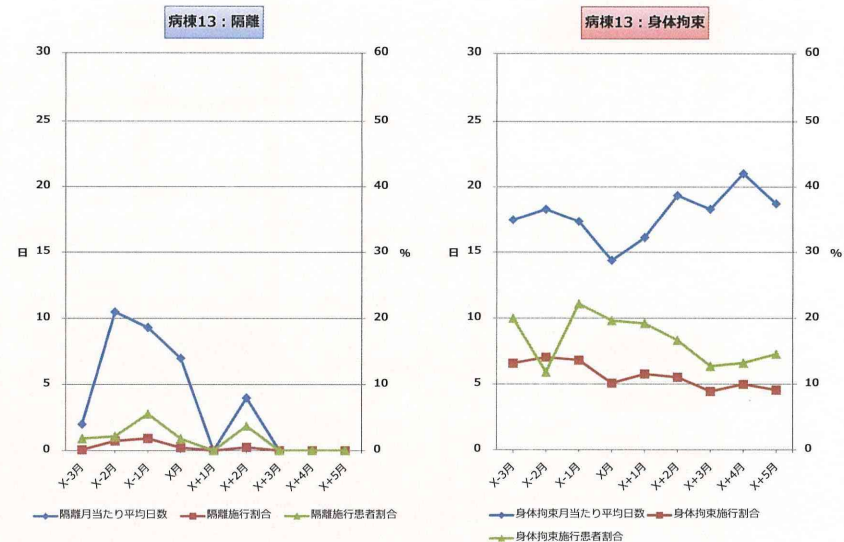


病棟：12

(施設：12) 病棟：12		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	F. ディエスカレーション研修の開催
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	7 (1)	8 (1)	
男性 (うち准看護師)	11 (0)	11 (0)	
病床数	55	55	
うち隔離室を含む個室数	17	17	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	2	2	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20歳以上 65歳未満	20歳以上 65歳未満	
新規入棟患者数	4	1	
退棟患者数	4	2	
2011年平均在棟日数	1263.9	1263.9	



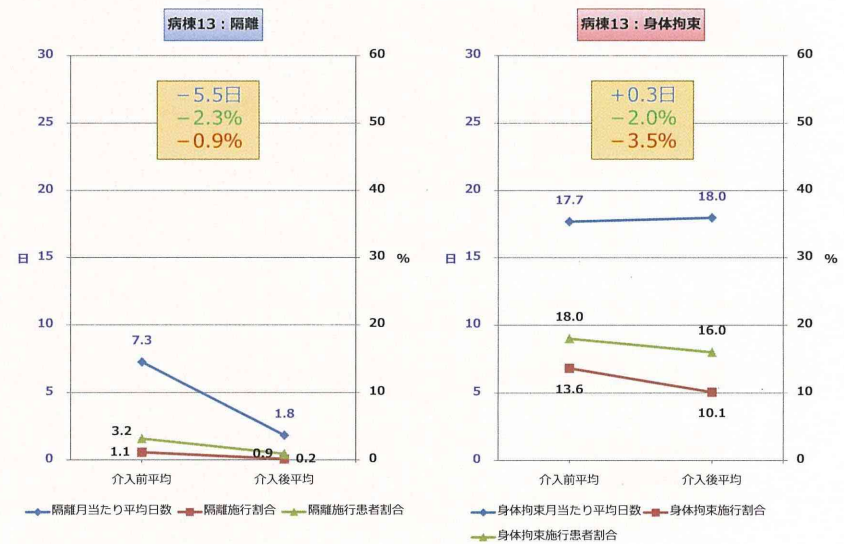
(施設 : 13) 病棟 : 13



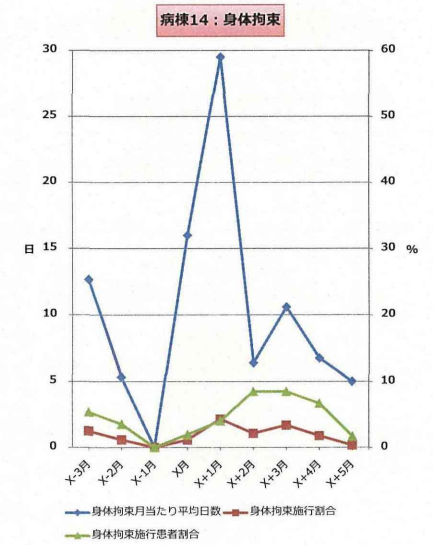
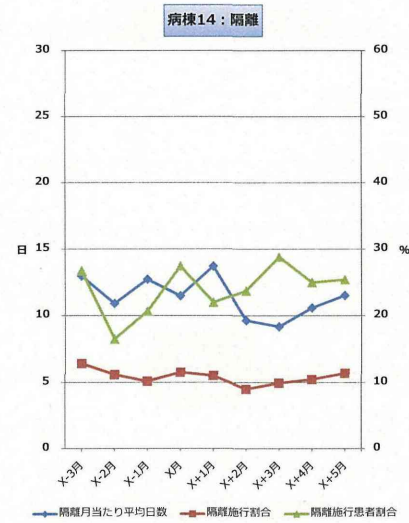
病棟 : 13

(施設 : 13) 病棟 : 13			介入
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	認知症	認知症	F. ディエスカレーション研修の開催
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	14 (8) 5 (3)	14 (6) 4 (3)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	54 8 2	54 8 2	M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F0 F2	F0 F2	
最も多い年齢層	65才以上	65才以上	
新規入棟患者数	9	3	
退棟患者数	5	3	
2011年平均在棟日数	363	363	

※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



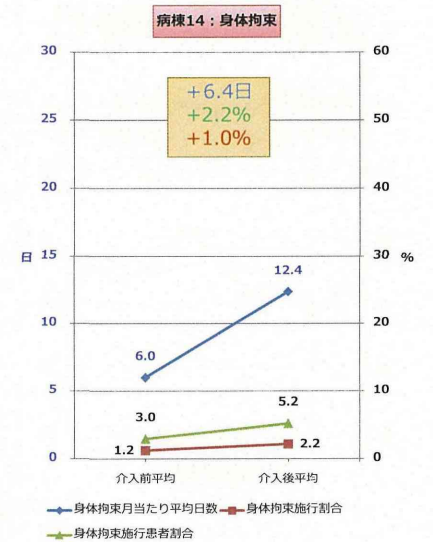
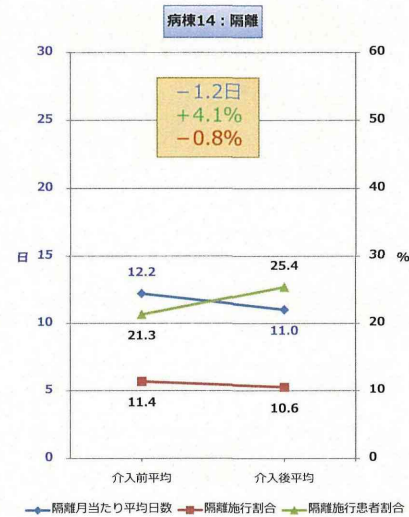
(施設 : 13) 病棟 : 14



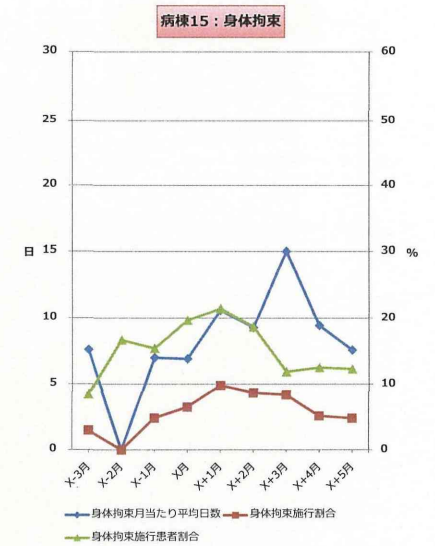
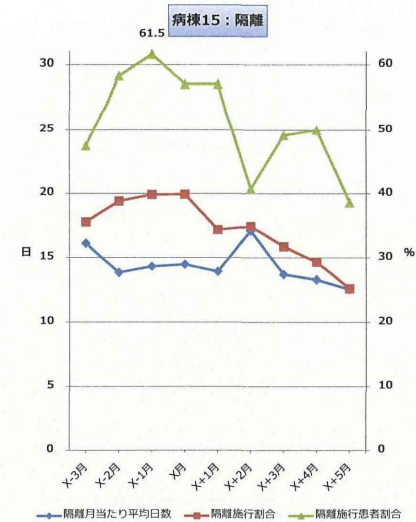
病棟 : 14

(施設 : 13) 病棟 : 14		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	精神15対1	精神15対1	F. デイエスカレーション研修の開催
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	15 (4) 7 (1)	11 (2) 8 (2)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	57 15 8	57 15 8	J. セイフティプランの使用
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F2 F3	F2 F3	M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	11	10	
退棟患者数	12	8	
2011年平均在棟日数	139	139	

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値



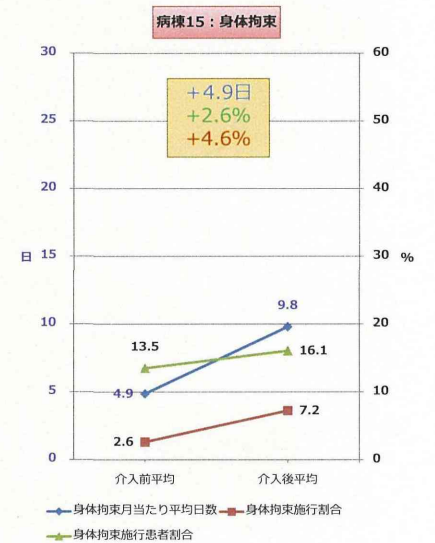
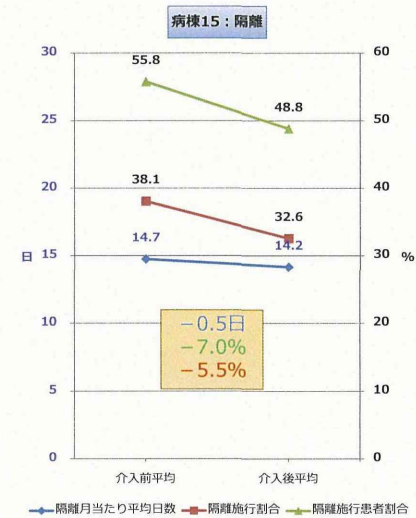
(施設 : 15) 病棟 : 15



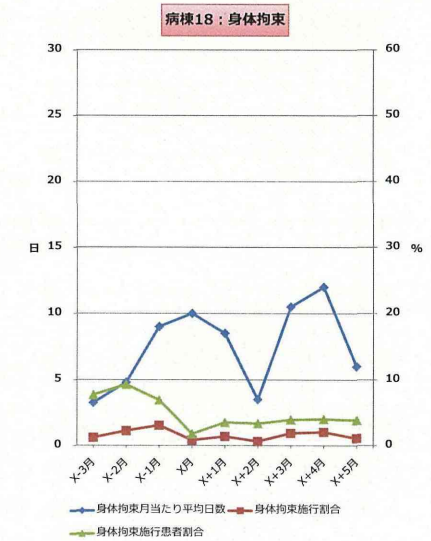
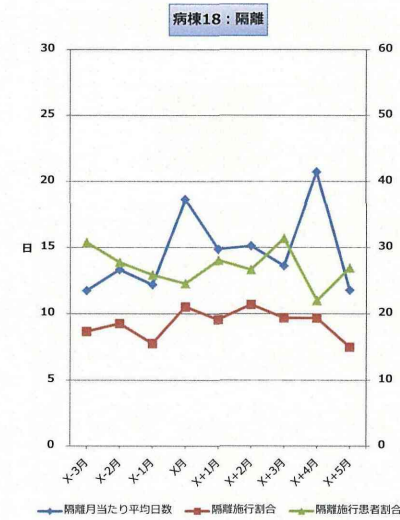
病棟 : 15

(施設 : 15) 病棟 : 15		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	N. 数日後以降, 利用者(患者)を含め, 隔離・身体拘束の振り返りを行う
入院料	急性期	急性期	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	16 (1)	15 (1)	
男性 (うち准看護師)	11 (0)	11 (0)	
病床数	45	45	
うち隔離室を含む個室数	25	25	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	6	6	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患		F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	18	19	
退棟患者数	18	20	
2011年平均在棟日数	85.1	73.8	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



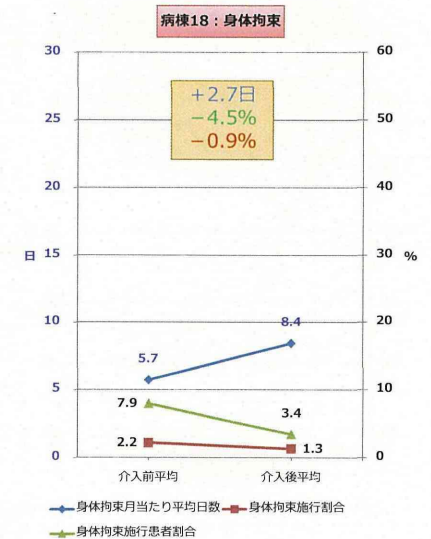
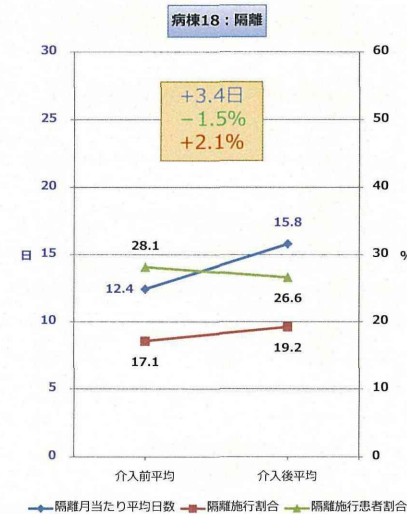
(施設 : 17) 病棟 : 18



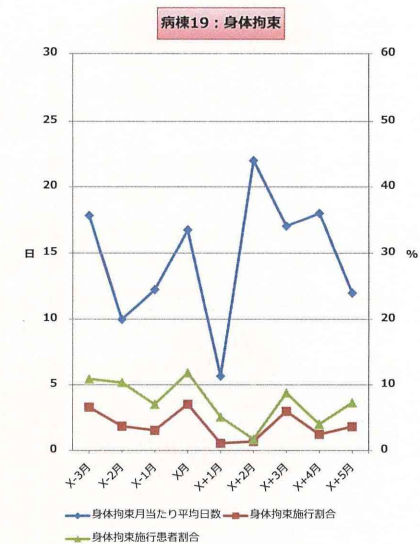
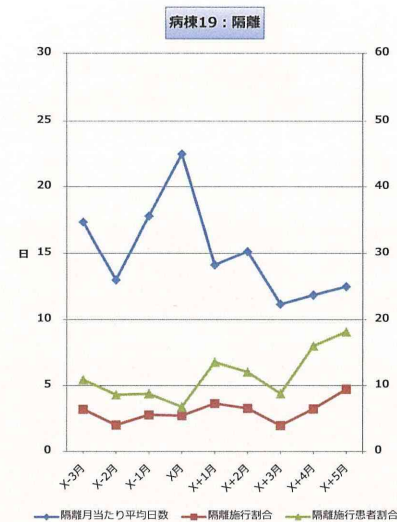
病棟 : 18

(施設 : 17) 病棟 : 18		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
入院料	急性期	急性期	F. ディエスカレーション研修の開催
看護師配置			H. タイムアウトの実施
女性 (うち准看護師)	21 ()	20 ()	
男性 (うち准看護師)	12 ()	12 ()	
病床数	50	50	
うち隔離室を含む個室数	14	14	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	2	2	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	22	16	
退棟患者数	18	15	
2011年平均在棟日数	53.1	73.2	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



(施設 : 18) 病棟 : 19



病棟 : 19

(施設 : 18) 病棟 : 19	介入		
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	11 (3)	11 (3)	
男性 (うち准看護師)	10 (4)	10 (4)	
病床数	60	60	
うち隔離室を含む個室数	4	4	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	3	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F0	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	3	5	
退棟患者数	2	0	
2011年平均在棟日数	267	267	

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値

